

4 疾病事例 ～原因と対策～

災害事例

種芋処理に使用した消石灰が衣服に浸透して皮膚が炎症した

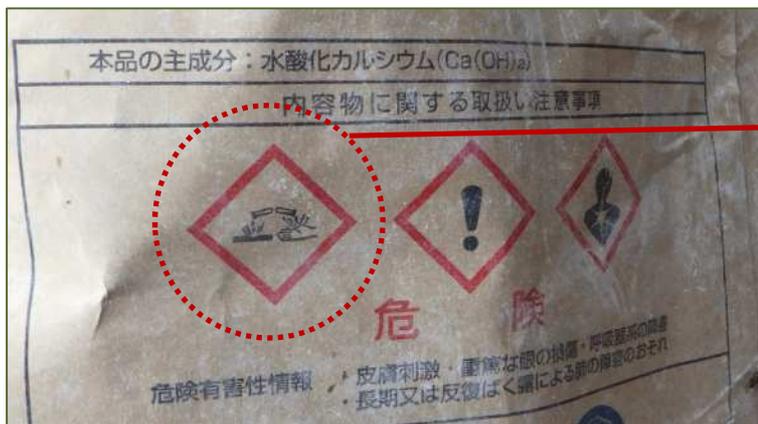
傷病名：両前腕の炎症

傷病の程度：1か月の休業

災害発生状況

種芋を消毒するために消石灰（水酸化カルシウム）を芋の断面につける作業を行っていた。被災者は保護手袋と布製の腕抜きを着用していた。ビニールハウス内で作業を行ったため、高温多湿環境により腕抜きが汗で湿ってしまい、腕抜きに消石灰が浸透したものの。

消石灰の袋の裏面



原因

汗で湿る腕抜きを着用していたこと。

対策

化学物質や作業環境に応じた不浸透性の**作業着**や**保護具**を着用する。

SDSを確認して、個々の有害性に対する対策を行う。

保護具の例



～リスクアセスメントを実施しましょう～

事業者は、リスクアセスメント対象物質を労働者に使用させる場合に、安全データシート（SDS）を入手し、リスクアセスメントを実施することが必要です。

労働者の健康障害を防止するために、化学物質の有害性を知り、リスクアセスメントを行いましょう。



労働安全衛生法の
新たな化学物質規制

5 身近な化学物質について

化学物質は身近に存在する！

「化学物質」と聞くと何か特別なもので、化学工場のような場所で使用されると思いがちです。

しかし、私たちが普段使う**カビ用スプレー**も、**アルコール**も、**灯油**や**ガソリン**も、すべて化学物質の仲間です。



対策が必要な化学物質の見分け方

対策が必要な化学物質を見分けるには、容器についている**絵表示**を探すと有効です。



化学物質の有害性の調べ方

化学物質の有害性を調べることで、どのような対策が必要か知ることができます。有害性は**安全データシート (SDS)**に記載されています。**最新の SDS**を製造メーカーから入手して、「**2. 危険有害性の要約**」を確認しましょう。



SDSの記載内容

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 化学品及び会社情報 | 9. 物理的及び化学的性質 |
| 2. 危険有害性の要約 | 10. 安定性及び反応性 |
| 3. 組成及び成分情報 | 11. 有害性情報 |
| 4. 応急措置 | 12. 環境影響情報 |
| 5. 火災時の措置 | 13. 廃棄上の注意 |
| 6. 漏出時の措置 | 14. 輸送上の注意 |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | 15. 適用法令 |
| 8. ばく露防止及び保護措置 | 16. その他の情報 |

代表的な絵表示 ～ 危険有害性と注意事項～



危険性
よく燃える、火災
注意事項
火種を近づけない



有害性
呼吸器や皮膚、眼に有害
注意事項
飲まない吸わない触らない



有害性
皮膚と目の損傷、失明
注意事項
触らない



有害性
遺伝性疾患、発がん性
注意事項
飲まない吸わない触らない

○今回紹介した絵表示は、**塗装**や**消毒**、**清掃**業務中に使用する化学物質の容器に表示されていることが多いです。

○二次元コードで資料を確認して化学物質の理解を深めましょう！



ラベルでアクション



厚生労働省HP
資料掲載ページ

コラム ～ 蜂刺され～



十勝管内では令和5年、6年と2年連続蜂刺されが原因の死亡労働災害が発生しています。

蜂はヒスタミンやセロトニンなどのアミン類を主成分とする「蜂毒」を持っており、これが体内に吸収されると腫れやかゆみをもたらす局所反応のほかに、じんましん等の全身症状が現れることがあります。特に重篤な症状となるのがアナフィラキシーショックで、これは発症から短時間で心肺停止に至ることがあるため、要注意です。

畑は病院から離れた場所にあることが多いため、応急処置できるよう備えておきましょう。

特に蜂に刺された経験がある人はアナフィラキシーショックを起こす可能性が高まります。そのため、重篤なアレルギー反応を起こすおそれのある労働者は自己注射器(商品名:エピペン)を**携行**しましょう。

事業者は以下の取組をしましょう。

- 1 作業場所の蜂の生息を確認する
使っていない倉庫に蜂の巣がないかチェック
- 2 保護具と救急用具の準備
蜂刺されの経験を予め調査し、ポイズンリムーバーやエピペン、保護具等を用意しましょう
- 3 蜂刺されの労働災害防止等の安全教育

防蜂服、防蜂網
防蜂手袋など。

救急用具の使用方法、刺された人には運転させないこと、病院の場所の確認、周知
被災者は病院に移動中、刺されてから30分以内に意識が無くなっています。刺されたときそばにいる人が病院に連れて行きましょう。